

僕は友達と行く旅行が大好きだ。気のおけない仲間達とのおバカ旅ほど楽しめるものはない。観光名所なんてどうだっていい、友達との待ち合わせ場所を決めた次の瞬間から一つ一つが観光名所のようにキラキラ輝く。そしてそれは何十年と語り継がれる（会えばまた同じ話）思い出となる。

片や今はおひとり様でもなんでも楽しめる時代だ。どこにいても好きなコンテンツは観られるし、いつでも友達と連絡が取れて共有が出来る。知らない人で良ければ三〇秒後にだって言葉を交わす事は出来る。便利、便利、便利。それもたいしたお金をかけずに。最高。

価値観によって楽しみは違いますが僕にとっては前者が大事で愛おしい。しかしこちらはお金がかかるのだ。だから働く、だから稼ぐ。より好きな所へより自由に行けるようになる為。

書いていて脳みそと手が直列で繋がっているような文章で気恥ずかしいが、ある種幼少期から欲望が一貫しているのはちょっととした誇りでもある（この文章が一番恥ずかしい）。

そう。僕はお金という一点においてはそこに向かって頑張ってきたのだ。

そんな中、先日大変興味深い話を聞いた。

友達の紹介でFIRE（経済的自立と早期リタイア）をしたという人に出会ったのだ。その方とはとてもない節約と労働の積み重ねで、多少の贅沢も出来る自由を手に入れたという。FIREには憧れがある一方で、その後の人生の



絵・江口修平

お金と自由と友達

ウエンツ瑛士

やりがいや幸福感などに疑問を持たれている部分がある（当人からしたら大きなお世話だ）。しかし僕は真っ先にその部分について質問してしまつた。すると意外な答えが返ってきた。

毎日楽しい。

これは訂正しなければいけない。「意外」な答えと思つていたのは僕の勝手な価値観で、よく考えたらお金の心配がなく好きな事をやる日々は意外じゃなく楽しいのだ。しかし、悩みがあると云われた。それは「友達」だと。

自由を手に入れて謳歌しようとした日々、同じ価値観を共有した友達がいない。

一週間、二週間の休みをとって海外に行こうにも一緒に行く人がいない。

FIREをしてから出会った同じ境遇の人とは自由という点においては共に過ごせるが、共に過ごしたいのは価値観の合う昔からの友達だと。

仮にお金を出して共に過ごそうものなら、それはもはや友達ではなく上下関係が出来てしまふ。そして結果的に寂しくなると。

お金と自由を手に入れたら友達を失う可能性があるかと誰が考えるだろう。お金は持つだけで、その人の人間性が変わらなくても関係性を変える可能性がある、どこかのポッターより魔法使いだ。当然僕はそんな位置には程遠いが、とりあえずこの話を友達と共有したら「おう、じゃあ一緒に金持ちになろうぜっ」と結論。

なるほど、僕らの頭の中は昔からFIREしていたんだな。

うえんつ・えいじ●俳優・タレント。1985年10月8日生まれ、東京都出身。幼少期にモデルデビュー。2005年～2016年2月までは小池徹平とのデュオ [WaT] として活動。2018年に演技・語学の留学のため渡英。2020年に日本での本格活動復帰。テレビ番組の司会で活躍する傍ら舞台・映画・ドラマに俳優としても出演するなど活躍は多岐にわたる。

